

烈ト能ク此曠古ノ偉業ヲ翼成セラレタルハ國民ノ忘ルヘカラサル所 某等
感奮ノ至ニ堪ヘス茲ニ恭シク感謝ノ微誠ヲ致ス恐惶再拜

明治二十八年五月十四日

山梨奉公義會々長正五位勳五等 田 沼 健

陸軍大將伯爵大山巖殿

一書肅啓日清交戰以來十餘月ノ久シキ櫛風沐雨千艱万苦ヲ冒シ戦闘ニ從
事セラレ今ヤ全局ノ大捷ヲ以テ平和ヲ克復セラル、ノ盛運ニ立至リ陸海
兩軍ノ忠實勇武中外ノ懾服スル所トナリ終ニ膏沃ナル疆土ト億萬ノ償金
トヲ納レシムルノ條件ヲ以テ媾和條約ヲ締結シ上ハ 聖明ヲ翼賛シ東洋

ノ平和ヲ恢復シ下ハ國家永遠ノ利益ト國民ノ幸福トヲ増進セラレタルハ
國家ノ爲メ慶賀之至ニ不堪候是レ畢竟軍謀戰略實ニ其宜ヲ得タルノ結果
ニシテ閣下ノ偉功ハ一般國民ノ歡仰感佩スル所ニ有之候茲ニ鄙衷ヲ陳ヘ
祝意ヲ表ス時下爲國千萬御自重是祈ル頓首謹言

明治二十八年五月十五日

秋田縣知事 平 山 靖 彦

第二軍司令官陸軍大將伯爵大山巖殿

恭ク惟ルニ叡聖文武

天皇陛下曩ニ清國ノ鄰交ニ戻リ信義ヲ失シタルヲ赫怒シ膺懲ノ大師ヲ興シ

給ヒシヨリ六軍ノ向フ所前ナク陸ニ海ニ奮闘勇戰盛京ヲ風靡シ山東ヲ席
 卷シ北洋艦隊ヲ殄滅シ澎湖島ヲ蹂躪シ將ニ進テ日章ノ國旗ヲ燕京城頭ニ
 翻ス殆ント間髪ヲ容レサラントス是ニ於テ彼レ力索キ策窮マリ終ニ土地
 ナ割キ償金ヲ納レ我カ示命ニ從フテ和ヲ請フニ至ル洵ニ振古未曾有ノ盛
 事帝國ノ威武ト洪譽ヲ宇内ニ宣揚スル何物カ之ニ加ヘンヤ是レ一ニ
 勅聖文武

天皇陛下ノ御威德ニ依ルト雖モ我陸海軍ノ忠勇義烈ニシテ能ク謀リ能ク戰
 ヒ精誠天日ヲ貫クニアラサルヨリハ焉ソ能ク此ニ至ランヤ其偉績殊功
 長ク汗青ヲ照シ將ニ日月ト其光ヲ爭ハントス今ヤ媯和條約ヲ公布セラレ
 茲ニ和局ノ收了スルニ遇ヒ縣民舉テ歡喜セサルナシ依テ謹テ帝國及陸海
 軍ノ萬歲ヲ奉祝ス

明治二十八年五月十五日

福井縣知事正五位勳四等 荒川 邦 藏

第二軍司令官陸軍大將從二位勳一等伯爵大山巖殿

福島縣耶麻郡町村長 某等謹テ書テ我陸軍將士諸君ニ呈ス曩キニ征清ノ
 鳳詔出ルヤ諸君 聖旨ヲ體シ軍規ヲ恪シ克ク三伏ノ炎熱ヲ忍ヒ嚴霜指テ
 墜スノ匠寒ニ堪ヘ上下心ヲ一ニシテ勇往奮進向フ所連戰克捷草トシテ靡
 カサルナク木トシテ伏セサルハナシ是レ洵トニ

皇祖ノ威稜

陛下ノ神武ニ賴ルト雖諸君ノ至誠大義ヲ重シ萬艱ヲ冒シ厥職ヲ盡スニア

ラサレハ曷ンソ斯ニ臻ルヲ得ンヤ清國遂ニ渝盟ヲ悔ヒ今ヤ廣沃ノ土地ヲ
納レ巨額ノ償金ヲ輸シ媾和條約成リ歎好舊ニ復ス是ニ於テ 皇威中外ニ
宣揚シ國光宇内ニ發輝ス嗟吁諸君ノ忠勇ナル偉勳ハ千歲燦然磨ス可ケン
ヤ某等踊躍景仰ノ至ニ堪ヘス茲ニ蕪辭ヲ陳シテ恭シク諸君ノ偉勳ヲ彰表
ス

明治二十八年五月十五日

福島縣岩代國耶麻郡

喜多町長 原 平 藏

外各村長二十四名

日清交戦以來連戦連捷尙結果ヲ以テ戦局ヲ収メラレタリ之偏ニ

御皇徳ト閣下等ノ御精忠勇武之御指揮宜ニ倚ル 某等欣々ニ堪ヘス謹ミテ御
戦勞ヲ慰問シ併テ祝意ヲ奉ル

明治廿八年五月十五日

山口縣周防國都濃郡鹿野村

岩 崎 伴 藏

第二軍司令官大山巖殿

謹而我カ第二軍司令官陸軍大將伯爵大山巖閣下ニ啓ス去歲征清ノ舉起ル
ヤ閣下黃海ノ波濤ヲ蹴破シ花園口ニ揚陸セシヨリ以來百難ヲ排シ萬艱ヲ

冒シ深ク敵地ニ入り紅水城ニ大連灣ニ及ニ岬ラスシテ之ヲ占領シ更ニ渤海ノ鎖鑰旅順威海衛ヲ陷レ連戦克捷清廷ヲシテ震慄セシム國威外ニ振ヒ勳績赫々タリ今ヤ媾和成リ東洋ノ平和克復ス又七等感謝ノ至リニ堪ヘス我村民一千六百有餘人ヲ代表シ鄙言ヲ陳シテ聊カ誠意ヲ表ス

明治二十八年五月十六日

巖手縣紫波郡佐比内村長 堀切 又七

第二軍司令官陸軍大將伯爵大山巖閣下

去年清國ト交戦セシ以來我軍隊ハ陸ニ海ニ連戦連勝敵軍氣喪シ謀窮シテ和ヲ請フニ至ル此レ洵ニ

大元帥陛下ノ聖威聖德ニ由ルト雖トモ我海陸軍將校士卒カ無前ノ武ヲ振ヒ不撓ノ勇ヲ鼓シ滿腔ノ誠忠一死國ニ報スルノ大義ヲ履ミ遂ニ茲ニ全局ノ大捷ヲ奏シタルモノ其功績豈偉大ナラスヤ此功績ハ皇國ノ人民タルモノ深ク肝膽ニ銘シテ永遠ニ忘失セサル所ナリ是ニ由テ和歌山市會ノ決議ヲ以テ恭シク感謝ノ意ヲ表ス

明治二十八年五月十八日

和歌山縣和歌山市參事會

和歌山市長從六位勳五等 長屋喜彌太

第二軍司令官陸軍大將從二位勳一等伯爵大山巖殿

謹呈乳燕屋梁ニ登リ布穀深樹ニ歌フノ候胡地ノ風光如何新紙ノ報スル所ニ據レハ鶯花ノ春光ナク只新柳ノ客情ヲ慰ムルアルノミト閣下等異域ニ圓月ヲ賞セシ日既二十回ヲ越ヘ炎熱寒威交々至リ彈雨劍光ヲ友侶トス其辛酸苦楚言語ノ及フ所ニ非ルヲ識ル今乎上

大元帥陛下ノ稜威ト陸海軍人ノ忠烈トニ據リ僅々ノ歲月ヲ以テ虎狼ノ敵國ヲ挫キ國威ヲ列國ニ輝カシ名譽ヲ萬國ノ史ニ存ス其偉功名狀スヘキ者アラサルナリ我輩國民タルモノ叩頭其光烈ヲ謝シ其辛勞ヲ慰セサルヘカラス閣下等凱旋入國ノ盛事已ニ瞳子ニ映スルノ想アリ庶幾ハ邦家ノ爲ニ自重シテ益々皇威ノ顯揚ヲ計ラルヘシ不肖直衝郡民一同ニ代リ卑簡ヲ呈シテ起居ヲ候ヒ閣下ノ萬歲ヲ祈ル誠惶敬具

明治二十八年五月二十日

愛知縣八名郡長 服部直衝

伯爵大山陸軍大將閣下

恭シク惟ルニ

陛下已ニ罪ヲ清國ニ問ヒ膺懲之師ヲ起シ向フ所前ナク連戰連捷シ雄偉ノ功ヲ奏シ一瞬ノ間四百餘州ヲ粉碎セントス清國ノ兵隊遂ニ勢窮リ力盡キ使ヲ差シ和ヲ乞フ恩威遠ク禹域ニ布カセ給ヒ約ナリテ批准シ茲ニ公布セラレ併セテ平和克復ノ詔勅ヲ發シ給ヘリ實ニ今回ノ大捷ヲ得タルハ萬乘ノ

陛下ヲ奉戴セルニ由ル亦々將校各位カ御辛苦經營奮闘力戰セラレタル力ナリ我等生テ此隆運ニ遭逢シ業ニ安シ何ノ幸カ之ニ若カン茲ニ平和克復ノ明詔ヲ拜スルニ當リ謹而皇軍ノ大功ヲ賀シ不日凱歌ノ聲ヲ東海ノ表ニ奏

スルヲ待ツ深ク將校各位ノ御勤勞ヲ奉鳴謝候也稽首再拜

明治二十八年五月二十日 大阪西區鞆中通貳丁百三番屋敷

名田利助拜

在清國第二軍司令部御中

恭ンテ惟レハ吾カ四千萬同胞ノ尊信畏敬セル吾カ陸軍大將閣下ノ率ヒサ
セ給フ所ノ忠勇ナル軍隊カ閣下一令ノ下ニ馳騁シ久シク瘴烟毒霧ヲ千里
ノ外ニ冒シ酷暑極寒ヲ砲火氷雪ノ中ニ凌キ血川ヲ涉リ屍山ヲ踏ンテ向フ
所敵ナク連戦連勝國威ヲ八紘ニ宣揚シ頑清ヲシテ刀折レ艦盡キ惶遽狼狽
信使ヲ發シ來テ誠ヲ致シ和ヲ大本營下ニ哀請セシム

大元帥陛下仁德天ノ如ク其哀請ヲ容レ彼我億兆ノ生靈ヲ怜レミ遂ニ戦局ヲ
結ブニ至ラシメ給フ嗚呼

陛下至寬至厚ナル大恩典ノ光輝ト閣下以下諸將校兵士諸君カ至誠至烈ナル
忠勳武威ノ赫耀スル所誰レカ感戴悅服セサルモノアラン茲ニ謹ンテ一言
ヲ呈シ魚津町民ヲ代表シ累月積日ノ賢勞ヲ恭謝シ奉ル誠惶誠恐頓首再
拜

明治二十八年五月廿一日

富山縣下新川郡魚津町會議長 寺崎與一郎

在外第二軍司令官陸軍大將伯爵大山巖殿閣下侍史

拜啓爾後益々御健康奉大賀候陳は御出軍以來毎戰連勝遂に膺懲の實を舉
られ皇威四海を壓し國光宇内に輝き日月と光を爭ふ實に空前の盛事國家
の爲め奉慶賀候是悉を閣下の御忠勇鍊金の暑折膠の寒をも不被厭長日月
の間倍々勇奮御指揮の宜しきと部下の御素養に背かざるの致す所と奉感
銘候茲に皇師の凱旋に臨み聊か祝詞申上度如斯に御座候早々敬具

明治二十八年五月二十三日

山口縣知事 大浦兼武

陸軍大將伯爵大山巖殿

新潟縣中頸城郡菅原村會議長風間安太郎謹テ村民ノ意思ヲ代表シ感謝ノ意

ヲ第二軍司令官ノ幕下ニ呈ス我カ軍隊ノ烈暑祁寒異域ニ凌キ奮戰勇闘幾
十回盛京ヲ風靡シ山東ヲ席卷シ日章ノ光輝ヲシテ大陸ニ照耀セシム抑忠
誠義烈國ニ報シ愾ニ敵スルニアラスンハ焉ソ如此絶大ノ偉功ヲ奏スルヲ
得ムヤ今ヤ戰局收メテ凱旋ノ期近キニアラントス其勞苦ノ大ナル深ク感
激ノ至ニ堪ヘス乃チ村會ノ議決ヲ以テ謝意ヲ表ス

明治二十八年五月廿七日

新潟縣中頸城郡菅原村會議長

菅原村長 風間安太郎

第二軍司令官伯爵大山巖殿

明治二十七年八月一日我カ

皇上清國ニ對シ戰ヲ宣シ給フヤ六師鷹揚愾ニ敵シ武ヲ輝スコト十閱月軍紀
素レス籌策宜シキヲ得旭旗ノ向フトコロ風靡セサルナク降ヲ慰シ服ヲ撫
シ秋毫無犯サス到ル處壺漿セサルナシ清國大ニ淪盟ヲ悔悟シ使ヲ派シテ
和ヲ媾シ以テ此大局ヲ結了シ東洋ノ平和ヲ克復シ我國ノ光榮ト威嚴トヲ
宇内ニ宣示シタルモノ固ヨリ叡聖文武ナル

天皇陛下ノ聖德ニ賴ルト雖モ陸海軍將士諸公ノ身ヲ君國ニ致シ險ヲ履ミ難
ヲ冒シ鞠躬盡瘁セラレタルノ功ト謂ハサルヲ得ス茲ニ盛岡市會ノ決議ニ
因リ恭シク感謝ノ意ヲ表ス

明治二十八年五月廿八日 岩手縣盛岡市參事會

盛岡市長 清岡 等

愛知縣寶飯郡教育會々々長加藤六藏會員四百貳拾名ニ代リ第二軍司令官陸
軍大將伯爵大山巖公閣下ニ言ヌ曩ニ清國ノ鄰交ヲ紊シ釁端ヲ啓キシヨリ
茲二十有餘月ノ久シキ風ニ櫛リ雨ニ沐シ嚴寒ニ耐ヘ酷暑ヲ凌キ百難ヲ排
シ萬死ヲ冒シ敵ヲ韓山ニ破ル颯々疾風ノ霜葉ヲ掃フカ如ク城ヲ清野ニ
陷ル忽タル簞ノ塵土ヲ浮フニ似タリ加之彼ノ壯丁ハ箠食壺漿以テ我博愛至
仁ニ泣キ彼ノ老幼ハ安眠逸居以テ我高澤深恩ニ浴ス是ヲ以テ旭旗ノ向フ所
草木モ風靡シ皇威ノ及フ所禽獸モ蟄伏シ勇武八表ニ輝キ光榮四極ニ溢ル是
皇祖皇宗ノ 神靈赫灼タルト

天皇陛下允文允武叡聖慈仁ナルトニ基因スト雖將校諸賢ノ誠忠日月ヲ貫キ

下士卒諸士ノ勇武山嶽ヲ壓スルニ非ルヨリハ安ソ能ク此ニ至ラシヤ此ニ於テカ清廷モ其頑迷ヲ曉リ我カ至理ニ服シ遂ニ媾和條約完成ヲ告クルニ至ル嗚呼其勳其績天尙覆フ能ハス地尙載スル能ハサルナリ此ニ加藤六藏等處テ鄙詞ヲ述ヘ感謝ノ意ヲ表ス頓首再拜

明治二十八年五月卅日

愛知縣寶飯郡教育會長 加藤 六藏

第二軍司令官陸軍大將伯爵大山巖殿

謹捧一書候陳者昨年夏以來頑冥不靈ナル清國之爲メ不圖御殄念ヲ被爲惱候處今般古今無比之媾和條約ヲ締結セラレ全局之大捷ヲ以テ平和ヲ克復

スルノ盛運ニ立至リ候段國家之爲メ慶賀之至ニ不堪候是實ニ閣下ニ於テ親シク樞風沐雨之苦楚ヲ被爲嘗硝烟彈雨之間軍謀戰略ノ宜シキヲ被爲得候結果ニシテ歷々タル御偉功ハ一般國民ノ欽仰感佩スル所ニ御座候今ヤ無限之御名譽ヲ被爲負凱旋被爲在候ニ就テハ一言鄙衷ヲ述ヘ以テ祝意ヲ表シ申候時下國家ノ爲メ千万御自重奉祈候頓首敬白

明治二十八年五月三十日

秋田縣書記官 檜垣 直右

陸軍大將伯爵大山巖殿

王師堂々一度海ヲ渡リシヨリ連戰捷ヲ奏シ城ヲ取ル數十地ヲ占ムル數百

里誠ニ帝國ノ名譽ニシテ亦天下ノ偉觀タリ就中彼等カ天險第一ト恃ミ巨萬ノ財ヲ費シ尤モ堅牢ヲ極メ世界無數ノ軍港ト稱セラレ加之多數ノ勇兵ヲ以テ防禦少モ怠リナキ彼ノ旅順ノ如キ交戰僅カ數時ニシテ已ニ我有ニ歸シ又之ト相須ツテ渤海ノ鎖鑰兩翼タル威海衛ノ如キ亦啻一擊ノ下ニ之ヲ粉碎シ盡シテ殘ストコロナキニ至ル誰レカ壯絶快絶ノ感ナカラン嗚呼亦盛シナル哉蓋シ兵ハ國ノ大事豈ニ濫リニ動カス可キモノナランヤ我皇已ムヲ得スシテ宣戰ノ詔ヲ發シ旭旗ノ向フ所前ナク今ヤ敵ヲ國都ノ附近ニ窮追シ彼ノ四百餘州氣魂落チ顔色青シ茲ニ於テカ使ヲ遣シ首ヲ垂レ和ヲ請フコト極メテ切ナリ矣噫哀レト謂フモ愚ナラズヤ顧フニハンニバルハカーセーシノ驍將ニアラスヤ其アルプスヲ越ヘテ羅馬ニ入ルヤ彼其過半ニ兵士ヲ失ヘリ馬援ハ漢ノ鎮將ニアラスヤ其關山ヲ越ヘテ匈奴ヲ攻

ムルヤ彼レ竟ニ窮厄ニ陷レリ土耳其遠征ノ十字軍ハ半ハ途上ニ斃レタリ我豐太閤ノ朝鮮ヲ征スル亦志ヲ得スシテ半途ニ止メリ成功ノ難誠ニ難シ然リ而シテ今ヤ我第二軍一舉空前ノ大功ヲ收メ其威武東方ヲ壓シ光華ハ燦然トシテ全地球ニ輝ケリ豈ニ馬援ハンニバル等ト同一ノ論ナランヤ功モ亦至大ナル哉嗚呼斯如キハ固トニ

天皇陛下ノ威靈ト將士ノ勇猛ナルトニ由ルト謂フト雖抑亦我軍將官閣下等カ偉畧宏謀ノ然ラシムル所換言スレハ將官閣下等ノ賢明ナル曾テ一事ノ遺策ナク而カモ其兵ヲ用ユル事鬼神ノ如ク出沒變幻端睨ス可カラサルモノアルト千里風土ノ異ナル境ニアツテヨク辛酸苦楚ノ勞ニ耐ヘ勇往敢進死ヲ期シテ生ヲ知ラサル純義正忠ノ致ストコロニ由ラズンバアラズ生等愚ト雖モ一片赤誠ノ情只管感銘ニ堪ヘサルモノアリ茲ニ卑賤ヲ顧ミス恭

シク一書ヲ裁シテ謝意ヲ表シ併セテ閣下ノ健康ヲ祈ル庶幾クハ諒察ヲ垂
レ國家ノ爲メ自愛アラントテ某等頓首再拜

明治二十八年五月

大日本帝國茨城縣常陸國鹿島郡白鳥村大字飯島

飯島青年矯風會々員總代 飯島 貢

荒野七之助

飯島新太郎

在清國

第二軍司令官陸軍大將伯爵大山巖殿閣下

謹テ奉呈仕俸昨年來ヨリ大君ノ爲國家ノ爲征清軍トシテ彼ノ地へ御出軍
被遊候處清國ハ我カ國トハ異ナリ意外ニモ強寒ノ地ナルニ勇氣凜々トシ
テ軍隊ノ指揮ヲ被遊眼覺キ連戰連勝ヲ以テ國光ヲ世界ニ輝セリ其名譽者
天皇陛下ノ御稜威ニ賴ルト雖モ又將軍閣下ノ深キ思召ニ依ルト實ニ恐入
候次第今ヤ万世界ニ光榮スルハ大將軍並ニ軍隊ノ厚キ恩德ニテ今日ノ大
局皆ナ閣下ノ御心ニ出デ爲メニ帝國臣民モ安眠スル事一方ナラス私モ國
態ノ事ヲ考慮スレハ上様ニ向御禮ノ義務言語難盡私下民乍ラ深ク此段ヲ
奉歡謝候以上

明治二十八年六月十七日

神奈川縣大住郡土澤村土屋

平民農 石黒長兵衛

大山陸軍大將閣下

次呈

天皇陛下大將軍閣下ノ厚キ御心ヲ感シ我モ昨年開戦以來終戦迄我モ報恩ノ志ヲ以テ八ヶ月之間相勤メ候委細之義ハ本年一月廿日附テ以テ戦地御出軍先へ奉呈書差上置候通り實ニ恐入次第ニ候何卒御用捨之程偏奉願上候以上

譯文

唐突の至にて多憚御座候へ共以書願奉申上候小生儀兼て閣下之御高名を
傳承仕不堪欽慕の情罷在候へ共海山萬里親まぐ得拜顔の榮候事ハ望外ふ
有之せゑて一片の御筆跡よても頂戴仕座右み備へ置些か景仰の念れ相慰
め度奉存候依て白紙壹枚封入差出さ候條愚衷御憫察被下御清閑の際右へ
御染筆之義何卒御協被下度

閣下一指れ勞ハ小生よ在て千金れ賜にも均まかるべく奉存候間吳々も右
御願望御聽許成被下候様致度此段伏奉願上候恐惶謹言

明治二十八年一月

イ、エス、マイヤルス

大山伯爵閣下待史

下記數名ノ獨逸軍人並ニ其家族ハ閣下ノ光輝アル威海衛占領ノ捷報ニ接シ驚歎欣舞ノ至ニ絶ヘス

尙ホ爾後作戰ノ好運ト成效トヲ希望ス敬具

千八百九十五年二月三日

ブルンヒツテルハーフェン

アー、コー、ゾ

ゲー、ウ、井ルケンス

エヌ、ホイエル

ヘンリー、ワグネル

ペー、ライメルス

ヘレ子、ライメルス

カロニ子、ウ、井ルケンス

ルイゼ、ワグネル

第二軍司令官大山大將閣下

謹ンデ威海衛占領ヲ祝ス、吾人ハ進取國ガ老大國ニ勝ヲ制シタルヲ喜悅ス吾人ハ千八百七十年及ビ七十一年同様ノ事ヲ爲シタルヲ以テ一層閣下ノ勝利ヲ欣舞スルモノナリ尙ホ連戰連勝ヲ希望ス

千八百九十五年二月六日

伯林「タウベン」町七番地

天鵝絨組

大山伯爵閣下

勝者タル日本國民ニ對シ其東洋ニ於ル繁盛ト捷利ヲ祝シ併セテ閣下ニ對シ誠實ナル祝意ヲ呈ス

千八百九十五年二月八日

瑞典國ストックホルム府

ダーゲン、スニーヘーテル

ロール、ブルメンヘルヒ

大山伯爵閣下

謹ンデ威海衛港ノ占領ヲ祝ス

千八百九十五年二月廿日

獨國「ウールテンベルヒ」

「子ッカル」河邊「ハイルブロン」市

「バード」町五十四番地

商人「カール、プロイニンゲル」

在清國

第二軍司令官大山大將閣下

余ハ舊ト將校トシテ千八百七十年及七十一年佛兵ニ對シ戰ヒシモノナルヲ以テ閣下ガ閣下ニ隸屬セル勇敢ナル軍隊ヲ以テ彼ノ破廉耻極マル支那ノ弱兵ニ光輝赫々タル勝利ヲ是迄獲ラレシコトヲ直實ニ祝セザルヲ得サ

ルナリ

余及亦將校タラント欲スル所ノ年齡十六歳ナル余ノ息男ハ贖ヒ得タル特別圖ヲ以テ閣下ノ光輝アル戰勝ノ情報ヲ觀察シ居レリ

猶ホ閣下ニ爾後ノ勝利及名譽並ニ閣下ノ進歩ニ汲々タル本國ノ爲メ名譽充分ナル平和ヲ希望シ以テ此文ヲ結フ謹言

千八百九十五年二月廿二日

獨國「メクレンブルヒ」州「ギュストロー」

ギョルギ、マルチンゼン

大山大將閣下

二伸閣下若シ幸ニ些細ナル支那ノ戰利品ヲ余ノ男「フリードリヒ」ニ贈附セラレナハ同人ノ喜悅之ニ過キサルヘシ

閣下ハ一學校生徒カ閣下並ニ日本軍カ支那兵ニ大勝利ヲ得タルヲ祝賀スルヲ許サレンコトヲ希望ス
貴軍ハ時計ノ器械ノ如ク戰ヒ支那兵ハ搖搖ノ外レタル時計ノ如ク動作ス古英國ハ能ク諸狀況ヲ觀察ス
支那兵カ憫レナル日本兵ヲ虐殺セルハ余ノ深ク痛歎スル所ナリ
余ハ恐ル余カ閣下ニ一書ヲ呈スルハ閣下ノ煩トナランコトヲ況ンヤ余ハ閣下カ余ニ若干ノ日本古郵便切手ヲ送附セラレンコトヲ希望スルニ於テヤ閣下若シ返書ヲ賜ラハ余ノ榮之ニ過キス謹言

千八百九十五年十二月廿八日

英國「サッセキス」州「ウエストターピング」

イー、レチナルド、レー

大山大將閣下

余ハ茲ニ謹テ日本

皇帝陛下並ニ閣下ノ率ユル勇敢ナル軍隊ノ爲ニ閣下等カ支那兵ニ獲ラレタル光輝アル勝利ヲ祝ス、余ハ四年前汽船「チャールレス、タワース」號（船長「イー、ブルンストローム」）ニ乗込ミ長崎ニ至リシ以來常ニ貴國人民ノ隆盛ヲ希望シテ已マサルモノナリ、余カ同地ニ於テ遭遇セル日本貴女及紳士ヨリ受ケタル厚情ハ余ノ常ニ記憶スル所ノモノタリ、余ハ保證ス英國

人民ノ心ハ貴國ト同感ナルヲ

貴國ハ大且ツ勇敢ナル帝國ナルコトヲ示シタリ、余ハ閣下ニ爾後ノ好結果ヲ希望ス

千八百九十五年三月一日

蘇格蘭「グレンジマウス」

ハンス、ステーンベルヒ

大山大將閣下

二伸、閣下若シ幸ニ余ニ賜フニ日本郵便切手若干ヲ以テセラレナバ余ノ幸之ニ過キサルヘシ

拜啓私共は日々新聞紙上にて貴軍の好結果を承知致し歡喜の至に有之候

殊に旅順御畧取の御手柄も非常に感服仕候處ろに有之候私共英國人は最初より貴軍が御勝利を得られん事を希望仕り居候次第にて清國の野蠻にして速かに文明の輸入基督教の傳派を祈り居候事に有之候
 妾は只今友人の許へ達したる山縣大將の御書面を拜讀仕り候此の友人と申すは非常に郵便切手を集むる事に熱心致し居候青年にして現に山縣大將より數葉の珍らしき日本郵便切手を送り被越候就ては唐突失禮の罪を咎め玉はずは何卒妾の此手紙をして尊公に同様の御願致さしめ玉ひよ、實に妾の三名の男子一名の娘は矢張郵便切手を集むる事に盡力致し居り候併し此の御無禮なる御願出は幾重にも寛恕し玉はん事を奉願候且つ私共戦勝を祝する一片の好意を御受納なり被下度奉祈候艸々頓首
 一千八百九十五年三月一日

英國「チャールコンピ、マノー」ニテ

エル、ミンチン拜

大日本東京ニテ

第二軍司令官大山大將閣下

二伸可成は日清兩國の珍らしき郵便切手を御擇み被下度奉願候

謹テ日本司令官タル貴將軍閣下ノ戦勝ヲ祝ス今回ノ戦争ニ就テハ貴下ハ歐洲風ノ方略ヲ採用セラレ且ツ之ヲ遂行セラレシテ確信仕候閣下ハ日本將官中最モ老練家ニシテ其軍隊ヲ指揮セラル、方法ハ英國將軍ト雖モ遠ク及ハサル所ト存候旅順口攻撃ノ方略タルヤ近世歴史中ニ顯出シタル

最モ練達巧妙ナルモノニシテ閣下ノ名譽ハ實ニ日本人民全般ニ充分記憶セラルヘキモノト考候抑支那人ハ迪モ貴軍ノ敵トスルニ足ラサル所彼等ハ野蠻ト評スルノ外無之何レ不日閣下ハ北京城へ進入シ旅順口占領ノ如ク北京ヲ陥落セラル、ナラン且貴下ノ欲スル所ヲ遂行セラレ及朝鮮ヲ貴邦屬國ト爲スニ非レハ平和克復ニ至ル間敷ト信居候敬白

一千八百九十五年三月一日

戦争好ナル一少年

御返書之節日本郵便切手數葉御惠投被下候ハ、拜謝ノ至ニ不堪候余ハ家貧且英國ニ於テ該切手購入致候ニハ頗ル高價ニ有之候ニ付乍恐縮御懇望申上候也

英國デボン、ストーンハウス、エムマアブレース十番

シエー、ブリユース拜

司令官大山大將閣下

三月二日

於 倫敦

シエ子ラル、サー、ジュリユス、レインスハ日本人カ滿州ニ於ケル戦争ニ對シ雙手ヲ舉テ同情ヲ表申候去二月廿四日午前大平山ニ於テ光輝アル大勝利ニ對シ何卒余カ誠實ノ慶賀ヲ大山司令官ニ傳達被下度

於滿州海城或牛莊

大山司令官殿

將官サー、「ヂュリアス、ラニース」ハ日本軍カ滿州ニ於テ行ヒツ、アル戰鬪ノ光輝アル方法ニ大ニ感動シ二月廿四日ノ朝大平山附近ニ於テ獲ラレタル大勝利ノ爲ニ恭シク大山大將閣下ニ謝辭ヲ呈ス

三月二日

倫動「ハイトバーク」
「サッセキス、ガーデンス」

四十六番地ニ於テ

拜啓余ハ「チット、アンドレウス」ト稱シブリーク市ミユルインゼル第九番地ニ住スル者ナリ楮テ余ノ地圖上貴國ヲ看ルニ貴國ハ支那ヨリモ十倍小ナルヲ見ル此レニモ關セス閣下ハ遙カ大ナル敵ニ打勝チタリ故ニ余ハ閣下ノ勝利ヲ喜ブ者ナリ尙閣下ハ充分ニ支那兵ヲ撃破セラレントヲ希望

ス然ラサレバ余ハ決シテ支那ノ郵便切手ヲ集ムル能ハサルナリ蓋シ支那國ニハ一郵便ノ設置ナキヲ以テナリ而シテ支那國ニ打勝タル、ニ至リ初メテ此事改良スヘシ余ハ全世界郵便切手ヲ集ム然レ日本及支那ノ切手ヲ所持セス諸新聞紙ニ依レハ閣下ハ數多ノ戰利品ヲ得ラレタリト云フ若シ其中稀ナル郵便切手アレハ其若干ヲ余ニ送付セラレタシ是レ余ノ切ニ希望スル處ナリ尙貴國ノ爲メニ最大ノ勝利ヲ望ム

一千八百九十五年三月二日

チット、アンドレウス

大山大將閣下

拜啓 貴官が御指揮の許にありて日本軍が榮光ある勝利を得らるゝ事は實に私共の感喜に堪へざる處に有之候就中旅順の御戦勝は日本軍の精銳を證明する一舉と奉存候私共は日清開戦以來日本人は必ず最後の目的を達するにあらざれば此の戦争を中止せらるゝ事万無之と推察致し居候今まや春暖の好時節と相成候速に北京御畧取あらん事を希望仕候又た今後幾回か榮譽ある勝利を御重ね遊はされん事を切望の至に不堪候艸々頓首

一千八百九十五年三月三日

英國ヘスチングス、ハーストマート

セントヘケンス在

シー、ヴィヂケン

共拜

エフ、エチレード

大山大將閣下

二伸私共は郵便切手を集むる事に從事致居候願はくは珍らるゝ貴國の郵便切手數葉御惠與ニ預リ度奉存候草々

拜啓 願はくは小生を以て一書を認め閣下が二月廿四日大平山に於ける戦勝を祝するの榮を與へ玉へ小生は小學生徒にして外國郵便切手を集むる事を非常なる樂みに致し居候閣下若し數葉を御惠與被下ならば實に小生の願喜に不堪處なり英國にては貴國の郵便切手を得る事頗る難し何卒宜敷御願申上候草々頓首

一千八百九十五年三月三日

英國「リーデンパークス」「バアンステーブル」街十三番邸

エフ、ダブルユ、ハールン拜

大山大將閣下

余ハ閣下カ支那兵ニ大勝利ヲ得ラレタルヲ祝サンカ爲メニ茲ニ一書ヲ呈
ス余ハ閣下カ爾後尙ホ數多ノ勝利ヲ得ラレシヤヲ知ランカ爲メ毎日、新
聞ヲ閲覽シ又明ヲ失ヒタル一老女ニ之ヲ讀ミ聞カス老女モ亦貴軍ノ運動
ヲ知ランコトヲ希望ス閣下若シ幸ニ余ニ若干ノ日本郵便切手ヲ送付セラ
レナハ余ハ閣下ニ謝スル所ヲ知ラサルナリ余ハ目下唯五枚ノ日本切手ヲ
所有スルニ過キス閣下並ニ貴軍隊ノ健全ナルヲ希望シ併セテ尙ホ大勝利

ヲ得ラレンコトヲ祈ル

千八百九十五年三月四日

英國「サッセキス」州「ベッキスヒル、チン、シー」

「ウキルトン、ロード」「セント、ニコラス」

學校生徒

エドワルド、レウキス

親愛ナル大山大將閣下

余ハ勇敢ナル貴軍カ得タル所ノ勝利ニ關スル情報ヲ幾ント毎日「スタ
ンダート」新聞ニテ閲覽シ居レリ又繪入新聞ニテ支那兵ノ降服スル畫ヲ見
タリ余ソ伯父ハ「ホノル、(布哇)ニ住ス同人ハ數名ノ日本人ヲ召使ヘリ

其内一名ハ余ノ小ナル甥ノ乳母ナリ余ハ彼女ノ寫眞ヲ見タリ彼女ハ頗ル親切ナリ余等ハ支那人ノ爲メニハ氣ノ毒ナレトモ數多ノ戰勝ヲ得タル貴軍ヲ稱歎シ且貴軍カ支那人ニ親切ナリシヲ賞賛ス余等ハ旅順口ノ守備ヲ失セルカ爲メニ斬ニ處セラレントスル支那將官ヲ憐マサルヲ得ス余ハ思考ス閣下並ニ貴軍ハ嚴寒ノ爲メ大ニ困難セラレタルナラント余ハ學校ニ通學シ本年七月一日ヲ以テ年齡九歳ニ達ス余ハ本年「マグデレン」學校ニ入ランコトヲ希望シ居レリ余ノ母ハ昨年余ノ誕生日ニ郵便切手帖ヲ贈レリ爾來余ハ切手ヲ蒐集シ居レリ故ニ余ハ又頗ル日本ノ切手ヲ得ンコトヲ好メリ日本ノ兵士ハ我英國ノ兵士ト同様ナリト余ハ思考ス本年ハ當國モ寒氣甚ダ強ク冰雪多カリキ故ニ當年ノ夏季ハ温暖ナルベシト思考ス余ハ後年美麗ナル貴國ニ至ランコトヲ希望ス閣下若シ余ニ一書ヲ賜ラハ余ノ

榮之ニ過キス猶閣下ハ余カ閣下ニ卑書ヲ呈セルノ罪ヲ寬恕セラレントヲ希望ス謹言

千八百九十五年三月五日

英國「ノーサンプトンシヤヤ」「ブラックレー」

「エレスメル、テレース」七番地

エドワルド、ボナルド、ワルリン

親愛ナル大山大將閣下

余ハ英國ノ一生徒ナリ而シテ後日英軍ニ事ヘンコトヲ希望スル者ナリ閣下ノ光輝アル勝利ノ狀況ハ我國ノ「スタンダード」新聞紙上ニ之ヲ載セ余

ハ大ナル利益ヲ以テ之ヲ閱覽ス閣下ハ爾後如何ナルコトヲ爲サントスル
カチ知ランカ爲メ余ハ毎朝新紙ヲ讀ミ居レリ

余ハ爰ニ余ノ寫眞ヲ呈ス閣下ハ之ヲ受領セラレンコトヲ希望ス、余ハ他
ノ學校生徒ト同様各國ノ郵便切手ヲ集ムルモノナリ然ルニ未タ日本ノ切
手ヲ充分ニ所持セス敢テ乞フ其若干ヲ余ニ送附セラレンコトヲ
閣下並ニ貴軍ノ戰勝ヲ祝ス

千八百九十五年三月五日

英國「ロンドン」「ウエストケンシングトン」

「カッスルタウン、ロード」六十七番地

ジョージ、アルフレット、ダンカン

大山大將閣下

余ハ日本人諸君ノ親切ナルコトヲ聞タルヲ以テ茲ニ閣下ニ謹テ一書ヲ呈ス
余ハ曾テ澳國軍曹タリシヲ以テ總テノ軍事上及ヒ戰爭上ノ作戰ニ關シテ
ハ余ノ利益トスル處頗ル多シ從テ東亞細亞ニ於ケル日本軍ノ宏大ナル作
戰ニ大ニ注意シ居レリ
日本軍ハ獨逸式ニ從ヒ教育セラレ且ツ有能ナル諸將官ノ率フル處ナルヲ
以テ支那兵ヲ擊破セルハ當然ノコトタリ
余ハ閣下ニ威海衛ノ大勝利ヲ祝賀シ併テ爾後尙ホ大勝利ヲ得ラレンコトヲ
希望ス

同時ニ閣下ニ歎願アリ他ナシ余ノ子息ハ嘗テ郵便切手古物等ヲ採集シ居

レルヲ以テ威海衛ノ戦利品並ニ日本及支那ノ古郵便切手ヲ送付セラレン
ト是ナリ

余ハ前以テ閣下ノ御好意ヲ謝シ且ツ光輝アル第二軍ノ爾後ノ戦勝ヲ希望
ス謹言

スウヒーデン國ハルムスタット附近

千八百九十五年三月六日

チスカルストルム

ヨセフ、コロンプ

大山大將閣下

謹テ啓ス近頃伯林府ノ大新聞紙上ニテ閣下ノ御功績ニ關スル通信ヲ閲讀

シ實ニ感歎ニ堪ヘス軍神ハ閣下ニ與ヘ給フニ桂冠ヲ以テス日本國ハ古來
未會有ノ名聲ヲ世界ニ轟カセシモノハ一ニ是レ閣下ノ赫灼タル戦勝ト其
部下將官ノ智略トニ因ルヘキナリ妾ハ知己ノ佛國人カ曾テ著述セシ紀行
ニ就キ日本人ノ極メテ禮讓ナルヲ承知セリ因テ今閣下ニ對シテ左ノ一
事ヲ懇願ス妾ハ客冬十一月廿四日バートバードニ於テ火災ニ罹リ家屋諸
道具悉ク焼失シ其灰燼ニ皈セシ物品中ニハ高サ一米突五〇ノ六枚屏風ヲ
附屬セル支那古代ノ墨塗箆筒アリ此ノ如キ美術品ハ最早復ヒ手ニ入ル可
キ手段ト機會之レナキト斷念セリ然ルニ今清國ノ捕獲物品ノ中ニテ新
製ノ屏風一個御惠與ヲ願フノ一手段ヲ案出シ日本人殊ニ閣下ノ御懇切ト
大度トヲ確信シ切ニ之ヲ懇願ス閣下御許容アラハ幸甚ノ至リニ堪ヘス妾
ハ茲ニ閣下ノ御健康ト御繁榮トヲ祈リ併テ最敬ノ誠意ヲ表ス

千八百九十五年三月九日

獨逸聯邦バーデン國ヂンヂンバッハ市

男爵ドセルデネック家ニ生レシ

シヤルロット、ブルームド、ルーウィンベルヒ

大山伯爵閣下

旅順口陥落並ニ其他ノ大勝ノ後閣下ハ北京ニ侵入シ支那人ヲ教化セラレ
ンコトヲ希望ス閣下ハ定メシ支那日本及朝鮮ノ郵便切手ヲ數多所持セラレ
、ナラン就テハ其内若干ヲ余ニ送付セラレンコトヲ希望ス
余ハ閣下カ北京ニ侵入セラレタルノ報ヲ間モナク新紙上ニテ見ンコトヲ希

望ス謹言

千八百九十五年三月九日

英國「リー」「ケント」「ニースチー」「ロード」

リ、メイ

年齢十歳

在支那國旅順口

大山大將閣下

閣下ニ一書ヲ呈スルノ罪ヲ寛恕セラレンコトヲ希望ス蓋シ貴軍ノ海陸ノ
戦勝ヲ祝スルニ他ナキヲ以テナリ我々學校生徒ハ貴軍カ如何ニシテ支那

兵ニ打チ勝タレシヤニ關シ噂シ居レリ
 貴軍ノ勇敢ナル陸兵及水兵ハ我々カ學校ニ於テ柔順ナルト同然能ク閣下
 ノ命令ニ從フヲ聞ケリ
 貴軍カ如何ニシテ重量ノ大砲ヲ率ヒテ大河ヲ渡リシヤハ余ノ屢々稱歎ス
 ル所ナリ

余カ當國ニテ聞ク所ニ據レハ支那人ハ我國ノ宣教師ニ對シ甚々殘酷ナリ
 ト故ニ信ス今回ノ支那ノ國難ハ自業自得ナリト
 旅順口ノ陷落セルコトハ學校ニテ之ヲ聞ケリ又有名ナル貴軍隊カ支那兵
 ニ對シ此ノ如キ堅固ナル陣地ヲ守備シ居レルヲ聞ケリ蓋シ貴軍ノ勇氣ト
 決心トノ然ラシムル所ナリ

余ハ又聞ケリ貴軍隊ハ能ク命ニ從ヒ好ンテ前進シ之ニ反シテ支那兵ハ火
 藥ノ香ヲ懼ルト
 閣下ハ部下ノ勇猛ナル兵士ニ親切ナラサルヘカラス蓋シ兵士ハ能ク閣下
 ノ命ニ從フヲ以テナリ

貴國ノ陸海軍ハ益々勝利ヲ得以テ速ニ戰爭ノ局ヲ結ハンコト余ハ偏ニ希
 望ス兵士等ハ其故郷ニ歸リ其家族ニ面會スルヲ樂ムナラン
 終リニ臨ミ余ハ閣下ニ左ノ事ヲ告ケン我カ學校ニハ男女合セ千八百名ノ
 生徒アルコト即チ是レナリ
 我等ハ博物場ヲ開設セントス故ニ閣下幸ニ余ニ賜フニ過去戰鬥ノ記念物
 ナ以テセラレナハ男女兩生徒ノ裨益トナルコト尠ナカラサルヘシ
 余ハ閣下ニ此書狀ヲ呈シ閣下ヲ煩ハシタルヲ恐ル猶ホ我國ノ新聞ノ切り
 抜キヲ添フ閣下ノ御答ヲ俟ツ

兵ニ打チ勝タレシヤニ關シ噂シ居レリ
貴軍ノ勇敢ナル陸兵及水兵ハ我々カ學校ニ於テ柔順ナルト同然能ク閣下
ノ命令ニ從フヲ聞ケリ
貴軍カ如何ニシテ重量ノ大砲ヲ率ヒテ大河ヲ渡リシヤハ余ノ屢々稱歎ス
ル所ナリ
余カ當國ニテ聞ク所ニ據レハ支那人ハ我國ノ宣教師ニ對シ甚々殘酷ナリ
ト故ニ信ス今回ノ支那ノ國難ハ自業自得ナリト
旅順口ノ陷落セルコトハ學校ニテ之ヲ聞ケリ又有名ナル貴軍隊カ支那兵
ニ對シ此ノ如キ堅固ナル陣地ヲ守備シ居レルヲ聞ケリ蓋シ貴軍ノ勇氣ト
決心トノ然ラシムル所ナリ
余ハ又聞ケリ貴軍隊ハ能ク命ニ從ヒ好シテ前進シ之ニ反シテ支那兵ハ火

藥ノ香ヲ懼ルト

閣下ハ部下ノ勇猛ナル兵士ニ親切ナラサルヘカラス蓋シ兵士ハ能ク閣下
ノ命ニ從フヲ以テナリ
貴國ノ陸海軍ハ益々勝利ヲ得以テ速ニ戰爭ノ局ヲ結ハシコト余ハ偏ニ希
望ス兵士等ハ其故郷ニ歸リ其家族ニ面會スルヲ樂ムナラン
終リニ臨ミ余ハ閣下ニ左ノ事ヲ告ケン我カ學校ニハ男女合セ千八百名ノ
生徒アルコト即チ是レナリ
我等ハ博物館ヲ開設セントス故ニ閣下幸ニ余ニ賜フニ過去戰鬥ノ記念物
ヲ以テセラレナハ男女兩生徒ノ裨益トナルコト尠ナカラサルヘシ
余ハ閣下ニ此書狀ヲ呈シ閣下ヲ煩ハシタルヲ恐ル猶ホ我國ノ新聞ノ切リ
稜キヲ添フ閣下ノ御答ヲ俟ツ

閣下並ニ部下諸將校ノ長壽及勝利ヲ祈ル

千八百九十五年三月十一日

英國「リハープール」府「スペロー、レーン」六十二番地

甲號

シヨン、バルンス

年齢十二歳

大山大將閣下

二十四年前本國ノ自由ノ爲メニ戦ヒ且其一部ハ血ヲ以テ獨逸帝國ノ再立
ヲ幫助セシ所ノ孝漏士舊將校數名ハ勇敢ナル日本軍ノ健康ヲ純粹ナル獨

逸麥酒ヲ以テ祝シ併セテ日本ノ「モルトケ」ナル閣下ニ尊敬ヲ表シ且ツ勇
猛ナル貴軍ニ爾後ノ戦勝ヲ希望ス

千八百九十五年三月十一日

「ベルリン」市「ベーレン」街二十九番地

總代退職小尉

ペッシェル、フオン、ブランコニ

大山大將閣下

余ハ信ス閣下ハ余ガ閣下ニ一書ヲ呈スルノ罪ヲ免ルサル、ヲ閣下若シ幸
ニ余ノ郵便切手帖ノ爲メニ余ニ賜フニ若干ノ日本又ハ支那ノ切手ヲ以テ

セラレナハ余ハ閣下ニ謝スル所ヲ知ラサルナリ
閣下若シ切手ヲ送付スルコト能ハサレハ伏シテ乞フ余ニ報スルニ戦争及閣
下ノ光輝アル勝利ノ情報ヲ以テセラレンコト余ハ年齢十三歳ノ男子ニシ
テ將來軍人タランコトヲ欲スルカ故之ヲ知ランコト切望スルモノナリ謹
言

千八百九十五年三月十六日

奥國「リンツ」市

「プロメナーデー」二十三番地

エゴン、ボーチ

大山大將閣下

余ハ遙ニ亞弗利加南部ニ住スル學校生徒ニシテ進歩ニ富タル貴國人民ト
支那人民トノ間ニ起レル戦争ニ關シテハ新聞紙上ニ之ヲ聞知セリ依テ余
ハ茲ニ閣下ノ光輝アル勝利ヲ祝賀ス余ハ信ス今回ノ戦争ハ東洋ニ開化ヲ
擴ムルノ手段タルベキコトヲ余ハ郵便切手帖ヲ有シ以テ好テ各國ノ切手ヲ
採集シ居レリ故ニ閣下若シ幸ニ余ニ賜フニ若干ノ貴國ノ切手ヲ以テセラ
レナハ余ハ日本ノ勇猛ナル豪傑ノ紀念トシテ常ニ大切ニ之ヲ保存スヘシ
謹言

千八百九十五年三月廿九日

南部亞佛利加、ケープ、コロニー、チウドホルン

クイン街

ウイー、ラツド

大山大將閣下

旅順口及威海衛ニ於テ殊ニ光輝アル閣下ノ戦勝ニ對シ及此最要害ナル二
 軍港ヲ占領セラレタル行爲ニ對シ謹テ慶賀仕候併テ日本ノ兵士軍屬吏員
 將校カ野戰ニ於テ艱難及異變ニ際シ支那敵兵ニ對シ攻撃及戰爭ニ大勝利
 ナ得ラレシヲ慶賀候
 日本ハ眞ノ文明ノ何物タルヲ敵國ニ示シ又傲慢ノ恃ムヘカラサルヲ明示
 被致候

珍奇ナル日本便郵切手數葉及支那朝鮮ノ切手モ御持合有之候ハ、少々御

惠送相願度尙此書ニ對シ御返書被下候節ハ支那文ノ翻譯御添付御願申上
 候

郵便ノ切時間切迫ニ付短文御海容被下度候

貴國ニ於テハ閣下カ今回得ラレタル如キ功勞無之ト存候

千八百九十五年四月一日

ジョン、レインナルド、ホール

大山大將閣下

再白小子宛所ハ英國ダルビシヤイア、ブキストン、サマーボード、ハウ
 ス十三番地

謹啓去二月二十四日大平山ニ於テ大勝利ヲ被得候段慶賀ノ至ニ不堪候小子ハ一學生ノ身ニシテ外國新聞報道ヲ愛讀仕候司令官閣下ヨ小子ハ外國切手ヲ輒集樂居候ニ付若シ貴國現用或ハ不用ノ切手數葉御惠投被下候ハ、雀躍ノ至ニ不堪候謹テ閣下ノ御成功ヲ祈候謹言

一千八百九十五年四月三日

英國リーデング、パークス

パーンステール街十三號

フレデリック、ダァリユー、ハーン

大山司令官閣下

下名ノ者ハ茲ニ謹テ余及余ノ同郷者タル「マラバル」海岸ノ耶蘇教徒ヨリ閣下ノ大勝利ヲ祝ス尙ホ茲ニ若干ノ古郵便切手ヲ封入シテ之ヲ閣下ニ呈ス附テハ閣下ヨリ余ニ賜フニ日本朝鮮支那漢口及ヒ上海ノ切手ヲ以テセラレンコトヲ切望ス

上帝ハ戰時及ヒ平和ノ時ヲ論セス閣下ヲ保護シ且ツ貴國人民カ地震等ノ危害ニ罹ラザランコトヲ守ラセ玉フヲ希望ス恐惶謹言

千八百九十五年四月六日

印度マドラス軍二等軍醫 ウエルゲス

大山大將閣下

余ハ閣下カ余ニ賜フニ支那ノ戦利品中若干ノ郵便切手ヲ以テセラレント
ヲ希望ス

伯林エリザベット、ウーフエル三十八番地

千八百九十五年四月廿日

リチャード、サンデル

大山大將閣下

謹啓前畧御海恕ヲ乞フ予ハ去ル五ヶ月間貴君ノ行爲ニ關シ聞讀セルト頗
ル多キヲ以テ部下ニ對シ此ノ如ク深愛ナル將帥ハ必ス西國最遠ノ地ニア
ル少年ニモ甘ンシテ満足ヲ與フヘシトノ考ヲ懷ケリ故ニ閣下ニ請願ス何
卒支那及日本ノ郵便切手若干ヲ御送付アラントナ義ニ某瑞西人モ亦山縣

君ニ一書ヲ呈シ予ト同様ノ一ヲ請願セシニ本人ノ期スル所ノモノヨリモ
多數ヲ得タリ閣下ヨ、予ハ貴君モ亦懇情ニ於テハ山縣君ニ讓ラサル仁々
ルヲ信スルカ故ニ恣ニ且直接ニ一書ヲ奉呈スル所以ナリ然レモ予ハ謙遜
ヲ旨トシ「多キ程ヨリ善シ」トノ如キ言ヲ發スルヲ欲セス却テ二三葉ヲ投
セラレナハ既ニ満足ヲ表ス何トナレハ予ノ切手挿入帖ニハ日本及支那ノ
切手一葉モ存在セサルヲ以テナリ尙ホ左ニ瑞西ノ郵便切手一揃相添御送
付申候貴君モ亦之ヲ以テ他ノ蒐集ニ着手セラレントヲ望ム
請フ貴君カ此書狀ヲ落手セラレ予ノ希望ヲ充サレントヲ勿々頓首

千八百九十五年四月二十六日

瑞西國サン、ガルレン洲スタイングリニブリ四十八番

サミュール、シリットレル少年

大山大將閣下

貴國政府或ハ貴國ハ海軍船艦ノ不足ニ被爲入候事ト存候間此書面海軍大臣ニ御傳達被下同大臣或貴下ヨリ御注文ヲ受ケ度他會社ノモノト御比較被下候ハ、大幸之至ニ不堪候

數年前貴下ガ「ヘック公、レー」ニ於テ打毬^{クリケット}ノ遊戲被遊候節御懇意ヲ蒙リ候段名譽之義ト存候併一箇人トシテ小生ヲ御記憶無之候ハ、小生同胞ニシテ「コンニール、コルマック」ト申ス者ト結縁致候「バルチン」ト申者多分御熟知ト奉存候敬具

千八百九十五年四月三十日

倫敦東區

ビルテル、ビルテングス、十八號

エフ、ウィリアムス

東京

第二軍司令官大山大將閣下

大將閣下小生ハ閣下ノ尊大ナル戰勝ヲ得ラレタルヲ謹祝ス而シテ上天ハ

日本天皇陛下並ニ閣下ヲ守護スルナルヘシ且ツ今回ノ葛藤ハ閣下ノ博スヘキ最後ノ勝利ニ非ルヲ確信スルナリ

千八百九十五年五月一日

旅順口ニテ海城丸船長

アール、ベクター

大山陸軍大將閣下

並ニ諸將校へ

謹啓小生ハ瑞西國ノ小年カ閣下ノ御同僚ニ一書ヲ呈シ郵便切手若干ノ贈
與ヲ請ヒタルヲ新聞ニ於テ一讀仕候就テハ小生ノ蒐集帖ニアル日本ノ
郵便切手ハ僅ニ一葉ニ過キス候間小生モ亦閣下ニ一書ヲ呈シ日本或ハ支
那ノ郵便切手若干ノ御送付ヲ請願仕度候、閣下小生ノ願意ヲ御採用被下

候ハ、雀躍深謝ノ至リニ奉存候、小生ハ伯林日誌ニ於テ閣下ノ雷名並ニ
日本軍ノ支那軍ニ對スル大勝利ヲ一讀仕候匆々頓首

獨逸國「エベル」河畔ミニールベルヒ

ハンス、フ井ヒテ

大日本廣島

大山陸軍大將閣下

余ハ貴軍カ連戰連勝支那老國ヲ擊破セラレタルヲ大ニ驚歎スルモノナリ
貴軍ノ勝報ハ余ノ一層歡喜スル所ナリ蓋シ余ハ嘗テ兵士ト爲リ余ノ親愛
ナル國君ノ爲メ戰役ニ從事セルヲ以テナリ余ハ茲ニ敢テ閣下ノ爲メ戰勝

ヲ祝ス就テハ此書狀果シテ閣下ニ達セシヤ否ヤヲ知ルハ余ノ偏ニ希望ス
ル所ナリ猶ホ余ハ閣下ニ一ノ懇願アリ他ナシ余ハ預テ武器類ヲ蒐集シ居
レリ就テハ閣下ハ余ニ一小紀念物ヲ送附セラレンコトヲ假令ヒ最モ價値
ナキ品ト雖モ余及ヒ余ノ子孫ノ爲メニハ重寶タルヘシ
終ニ臨ミ勇敢ナル貴軍ハ爾後戰勝ヲ得ラレンコトヲ希望ス謹言

埃國「シルベルバツプ」

アロイス、ポッパ拜

大山大將閣下

明治二十八年八月十三日印刷
明治二十八年八月十五日發行

非賣品

版權
所有

第二軍司令部

印刷者

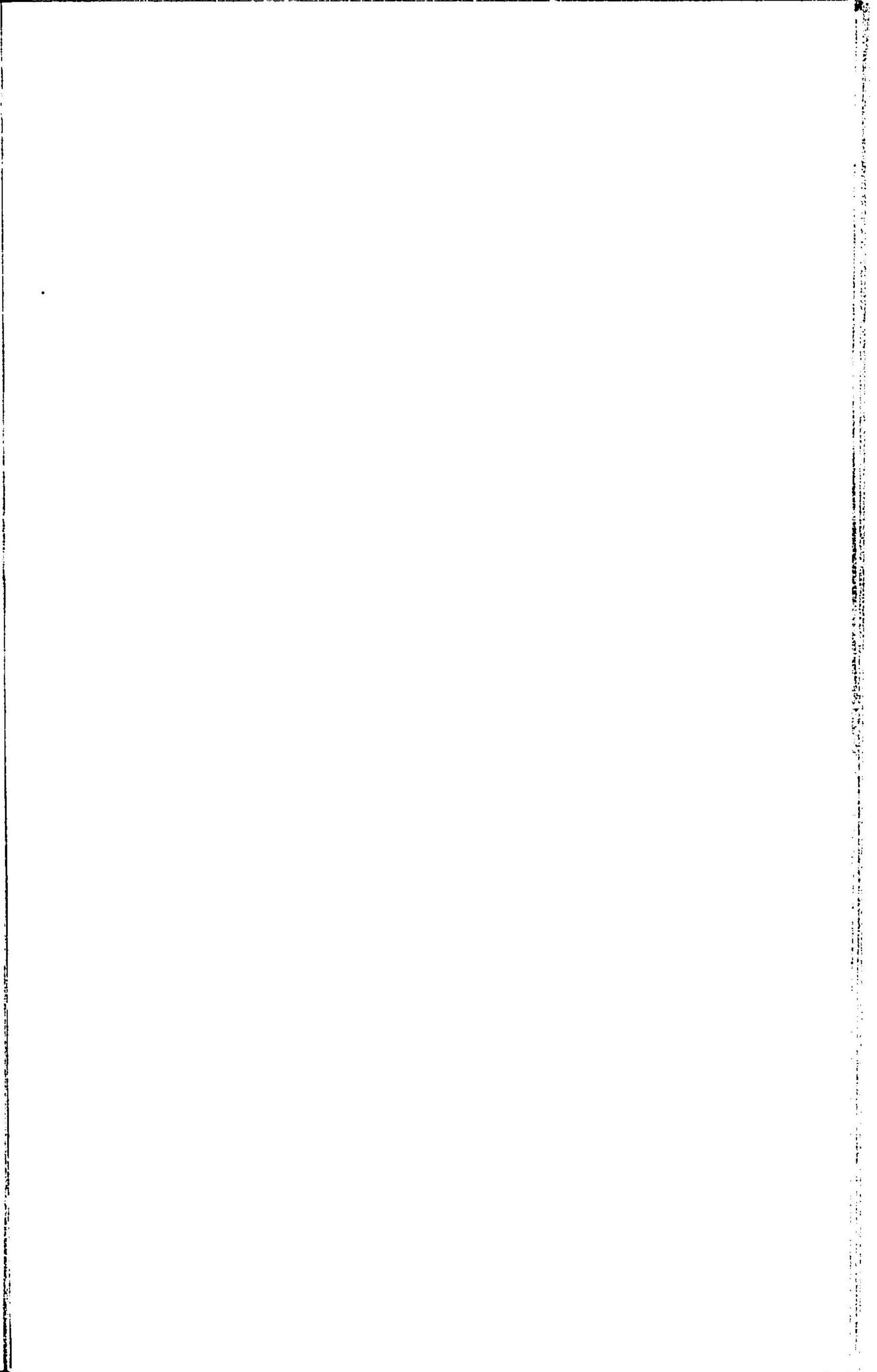
東京府平民

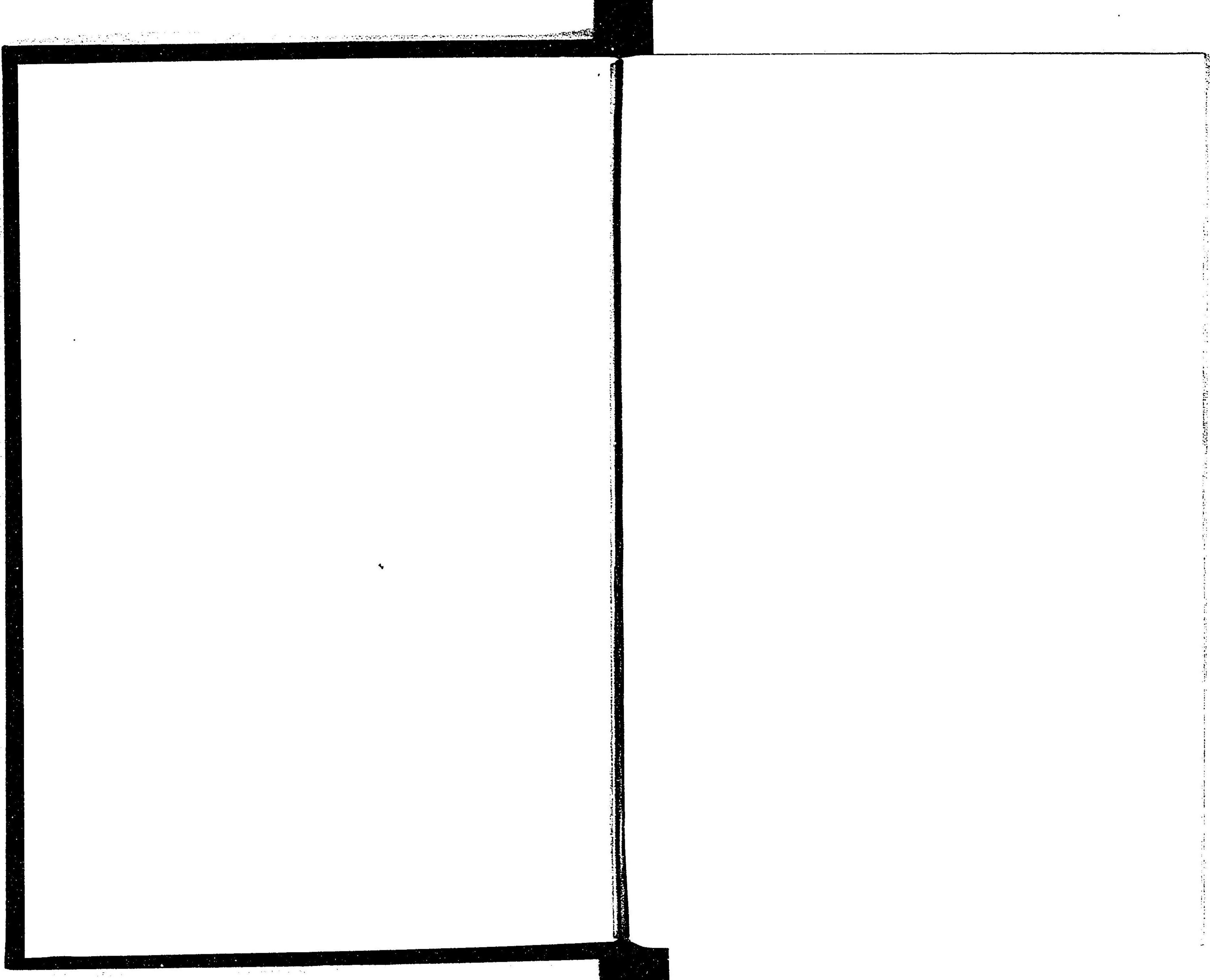
小林 又七

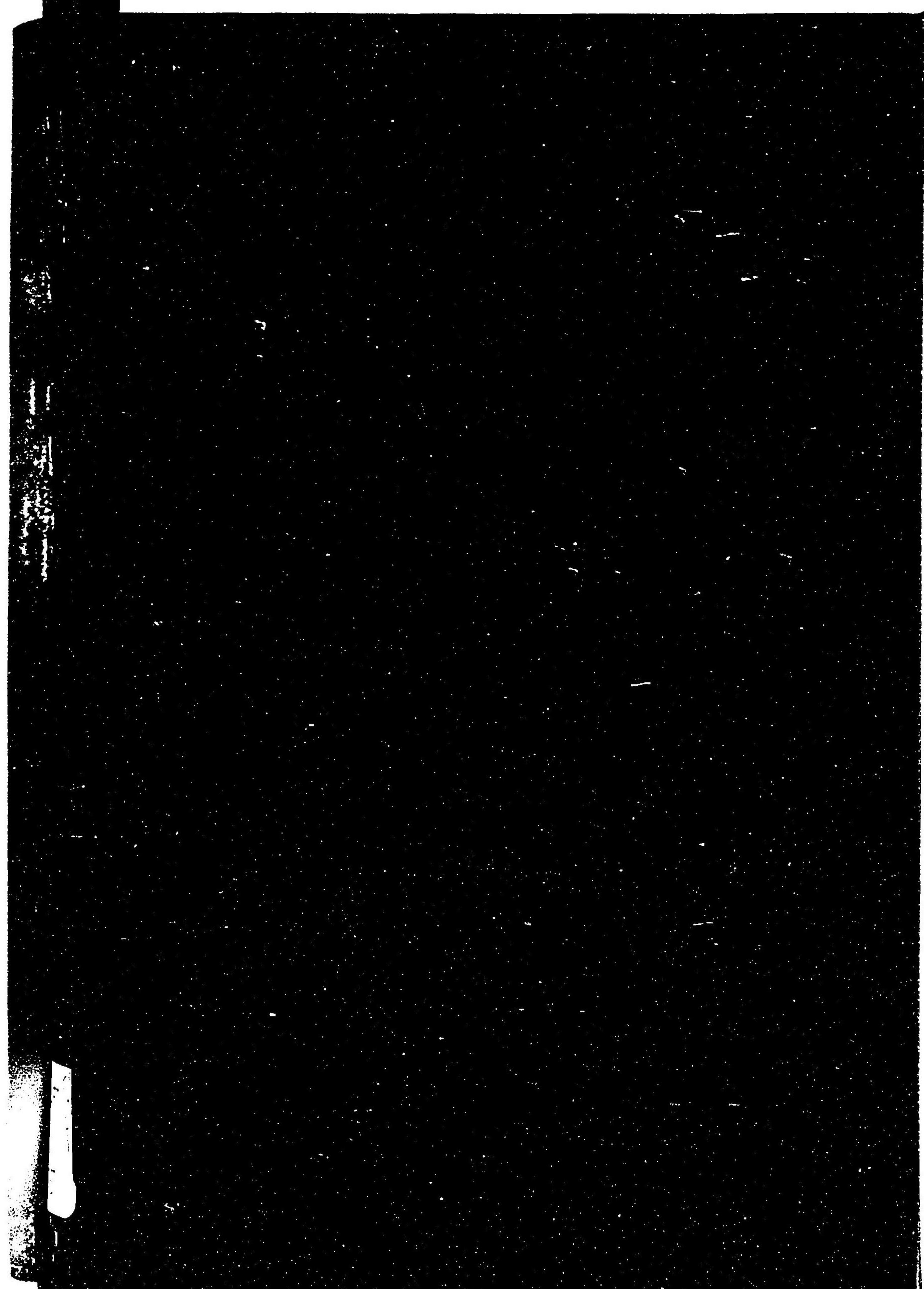
京橋區五郎兵衛町廿一番地

版權登錄

IL-2B8







45

155

002710-000-7

45-155

明治廿七八兩年之役第二軍感謝狀

M28

ACB-6165



